

ひるまだより



OPひるま歯科 矯正歯科
OP Hiruma Dental Clinic

〒190-0012 立川市曙町1-36-1 曙第3ビル2F
TEL=042-526-3376 HP=http://www.hiruma.or.jp/
E-mail=clinic-contact@hiruma.or.jp

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				休	02	03
休	05	06	07	休	09	10
11	休	13	14	休	16	17
休	19	20	21	休	休	24
25	休	27	28	休	休	休

1月						
日	月	火	水	木	金	土
休	休	休	休	休	06	07
08	休	10	11	休	13	14
休	16	17	18	休	20	21
22	休	24	25	休	27	28
休	30	31				

患者さんインタビュー 40 Yさん

きちんと噛み合っていないなかつた上下の歯 矯正治療で正しい噛み合わせに！

インタビューの内容をタイピスト版でお届けします。全文はホームページに掲載していますのでご覧ください。

◆OPひるま歯科矯正歯科で治療を受けることにしたのはなぜですか。

生まれつき右下の前歯が1本足りず、小学校の学校健診の時に指摘されていきました。永久歯に生え変わる時期になると、少しずつ前歯全体が前の方に出てきている感じがしたのです。私自身はあまり気にしていなかったのですが、「前歯が出てきたのは歯がもともと1本足りないことが原因なのでは」と心配した母から矯正治療を勧められました。母と同じ職場の方がOPひるま歯科矯正歯科で矯正治療を受けていて「すごくいい先生ですよ」と紹介してくださいだったので、初診相談に足を運んだのですが、スタッフの皆さんも親切で、晝間先生が丁寧に説明してくださったので安心しました。

◆ワイヤーを装着したときはいかがでしたか。

もともと前歯が出ていたことありますが、ワイヤーをつけたことでさらに前に出た感じがして口が閉じづらかったです。つらかったのが口内炎。歯肉にワイヤーや矯正装置があたり、ワイヤーをかけた

ところ全体に一本の線のように口内炎ができてしまつて…。月1回ワイヤーを調整してもらうのですが、必ず2週間後くらいに口内炎ができました。口内炎にならなくなったのは治療の後半、前歯を下げ始めたころからです。ワイヤーが口にあたる感じが少しずつ弱くなっていく気がついたら口内炎にならなくなつていました。

◆噛み合わせはいかがでしたか。

初診の時、「きちんと噛み合っていないところがひとつもない」と言われたのです。でも治療が進んでいくと、噛み合う歯が少しずつずれていくのがよくわかりました。治療終了後の歯型の模型を見せてもらったら上下の歯がしっかり噛み合っていたので、やはり治療前はきちんと噛み合っていなかったんだ、治療をして正しい噛み合わせになつたんだと改めて思いました。

◆OPひるま歯科矯正歯科で治療をしてよかったですか。

歯のメンテナンスの大切さを教えてくれるのが、自分にとって大きかったですね。初期診断で歯肉炎が進んでいることがわかり、自分の口の中の状態を知る良い機会になりました。今では毎日10分以上フロスや歯間ブラシを併用しながら念入りに歯みがきしています。これからもメンテナンスを続けてきれいな歯を保ちたいと思います。



Yさんの症状について解説します OPひるま歯科 矯正歯科 院長 晝間康明

Yさんは乳歯のときから下顎前歯部に癒合歯があり永久歯に生え変わったら下顎右2番が欠損していたとのことでした。顔貌の顕著な左右非対称性は認めませんでしたが口唇の翻転により下唇赤唇部が厚く見えました。側貌において口唇閉鎖時の口腔周囲軟組織の緊張感は顕著で前突感も認めました。上下顎前歯部に叢生を認め、下顎右2番が欠損していることで上顎前歯と下顎前歯の前後的なズレが8.5mmありました。治療方針として抜歯は親知らずに加え、次の2方針を提案しました。

方針①：上顎左右4番、下顎左4番（抜歯本数3本）

方針②：上顎左右4番、下顎左右4番（抜歯本数4本）

方針①では下顎右抜歯部位を先天欠如している2番としたので上顎右4番抜歯に対し下顎右の抜歯スペースが少なくなり、治療後、上下顎前歯の重なりが小さくなる事が予測されました。そのため方針②の抜歯本数は多くなるものの噛み合わせを深くする方針を提案。Yさんと相談のうえ方針①で治療を行うこととしました。

動的治療後の評価では、抜歯スペースにより叢生の改善、上顎前歯の後退を行いました。セファロX線写真において上顎前歯の後退により上下口唇の後退を確認できました。下顎は抜歯が左側4番のみなので下顎前歯の後退はわずかとなりました。

初診時の診断

下顎右側2番欠損 上突咬合
上突歯列 叢生歯列弓

初診時



動的治療終了時



方針①：上下の歯の重なりが小さいが正中（前歯の真ん中）が合う



方針②：正中は合わないが上下の歯の重なりが大きい

